

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 11 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473100760		
法人名	医療法人社団林医院		
事業所名	グループホーム夕霧の家		
所在地	広島県呉市音戸町畑3丁目20番36号 (電話)0823-56-1202		
自己評価作成日	平成22年11月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3473100760&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年1月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的で落ち着いた雰囲気を大切にしており、地域とともに歩んでいくということを目標に入居者様が楽しみながら、持てる力を発揮する事が出来るよう支援しております。町内のお祭りや行事に積極的に参加、企画をすることにより、地域交流の促進を図っており、入居者様がその人らしい生活を送れるよう、職員一同日々取り組んでおります。また、母体である医療法人を中心に関連の各施設と連携をとり、医療介護サービスが提供できるように確立しており、利用者様、ご家族様に切れ目のないサービスが提供できるように努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

・グループホーム夕霧の家では、隣接の関連事業所と連携しながら、入居者一人ひとりをおもてなしに受け入れ、楽しく、ゆったりと生活を送っていただけるように、全職員が入居者の個性を大切に、思いに添った暮らしの実現に努めている。
・母体組織のもとで、共通のマニュアルが整備され、計画的、一体的に職員の育成や研修が行われている。
・ホームのリビングからは、入居者の方々が幼少の時から眺められていた、瀬戸内海を見渡すことが出来、また近隣に大型ショッピングセンターやコンビニエンスストアが進出するなどしており、入居者の方々の散歩や買物の楽しみが備わっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	介護理念の一つとして掲げ、理念に沿って日々取り組んでいる。管理者と職員は理念を共有し、実践が理念に基づいたものとなるよう日常的に取り組んでいる。	管理者と職員は、理念を日々のケアの中で共有しケアサービスを行なう上で最も根本的なこととして捉え実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に進んで参加し、多くの方々と交流が深まるように努めている。隣接する小規模多機能型居宅介護やデイサービスの利用者や交流を行ったり、近所の小学生やボランティアの慰問があるときは交流を行っている。	隣近所には、民家は少ないものの地域の行事に積極的に出かけたり、隣接の関連事業所の利用者や交流を重ねながら、関係を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の奉仕活動や行事などにも積極的に参加し、お手伝いをしている。運営推進会議や事業所の行事を通じ、入居者と接していただける機会を持つことで、認知症に対する地域の方々の理解や支援を活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域のみなさんやご家族に対し、実施した事業・サービスを報告し、積極的に意見を聞き、サービスの向上に努めている。	毎回の会議は出席者も多く、活動報告により、ホームの現状を伝えている。会議では、参加者から質問、意見、要望を受け、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市の同業事業者が開催する勉強会に市の職員に来て頂き、助言・指導を頂きサービスの質の向上に取り組んでいる。	他の事業所と共に開催している勉強会に市の担当者を招き、その際にホームの実情やサービスの取組みを報告したり、相談事を行ないながら、担当者と良好な関係作りに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修に参加したり勉強会を行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。必要に応じて専門職の助言を受けながら拘束をしない支援を日常的に行っている。</p>	<p>職員は、入居者一人ひとりの尊厳を意識してケアに取り組んでおり、会議等でも常に確認し合い、支援方法についても勉強会を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修に参加したり、ミーティングなどで報告したり勉強会を行い、職員一同、細心の注意を払い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要に応じて、学習会や話し合いを持ち、活かせるように努力している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、利用者、ご家族に納得して頂けるように十分に説明を行い、理解して頂けるよう努力している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や面会時に意見を聞き、運営に反映させている。言い難いことがあるれば文章で書いていただくようにもしている。</p>	<p>運営推進会議や家族の来訪時に対話を持ちながら、意見等を積極的に聴いている。難しい要望等があった場合でも、家族の気持ちに沿った話し合いが出来るような配慮もなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎週1～2回ミーティングを行い、職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。管理者を通じ、代表者へ随時報告され意思決定が行われる。	代表者、管理者は共に職員の要望や意見を聞くように心がけながら、出された意見等は会議で十分に話し合い、検討されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得に向けた支援を行ったり、疲労やストレスの要因についても気を配り、心身を休められるように休憩場所・時間を設けている。職員同士の人間関係を把握したり、職場環境の向上に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員は研修などに積極的に参加できる環境を作っている。研修後は研修報告書を作成し、ミーティングなどで報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	行事や研修などに参加し、情報交換を行っている。サービスの質の向上という共通の目的のため、意見交換を行い、質の高いサービスができるように努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人のニーズを十分聞き、本人の思いや心身の状態に向き合い、職員が本人の信頼を受け入れられるような関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用までの経緯をよく聞き、どのようにすることが本人や家族にとって一番よいのかを考えるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面接に十分時間を費やし、受容・支持的方法を駆使している。本人や家族の思いや状況を確認し、出来る限り柔軟に対応していくように努めている。緊急性が高い場合は他の事業所への紹介も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員と本人が常に接しており人生経験をお聞きしたり、出来ることをお手伝いして頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月のお便りや、面会時に本人の様子を伝えている。ご家族が来られた時、一緒にお茶をお飲みいただいたり、外出をしていただく等、よりよい関係が保たれるように支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域の行事に参加したり、夏祭りを開催し、屋台を出したり、ご家族を招待したり、知人・友人にも参加してもらう等の支援をしている。	ホームの行事に、入居者の知人、友人等を招待したり、隣接の介護事業所を利用して馴染みの人に会いに行ったりしながら、関係が途切れないよう、支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲の良い利用者同士の席を近くにするなど、関わり合いを持てるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院された場合には面会に伺ったり、電話連絡などでこれまでの関係性を大切にしている。相談窓口を作りその後の支援に応じる体制作りをしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人に関わる資料を検討しながら本人本位のライフスタイルの検討している。日々の行動や表情から、思いや意思を汲み取るように心がけている。	入居者との日々の関わりの中で、思いなどをゆっくりと聴きとって、そうした情報は職員間で共有している。意向入手が困難な場合には、生活歴や家族からの情報を基に、寄り添うケアの中で把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用開始までの生活歴などを十分理解し、今までとあまり変わらない生活ができるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタルチェック、睡眠、排便の有無を確認し、その日の体調をみて一日の過ごし方を検討している。出来ること、やりたいことは出来るように、出来ないことはサポートすることで少しずつでも出来るように、一人ひとりの状態把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	本人や家族の思い、意見を聞き職員全員と関係者で意見交換・モニタリング・カンファレンス等を定期的に行い、介護計画を作成している。	定期的な見直しとともに、状況変化があった場合には、その都度見直しをしている。本人や家族の意向も日々のケアの中や来訪時、また、電話等でうかがいプランに反映している。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	毎日個別記録を記入し、申し送りで入居者の状態を確認している。重要事項や気付きは全て記入し、職員間で共有しながらケアに活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	本人、ご家族の要望に応じた介護計画を立て、柔軟な対応をしている。隣接地にあるデイサービス、小規模多機能の利用者との交流、外泊、外出など、その時々要望に応じている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	利用者が安心して、地域で暮らし続けられるように、地域の方々と連絡を取りながら必要に応じてご意見を頂き、支援へとつなげている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	健康面で気になることは、ご家族にこまめに報告し、本人や家族の要望に応じたかかりつけ医との連携をとり支援している。	入居前のかかりつけ医や希望する医療機関による受診の支援を行っており、かかりつけ医との情報の共有も出来ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	健康面や医療面について常時いつでも相談できるようにしており、状況変化に応じた支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際には、本人の支援方法をに関する情報を家族と病院関係者に提供し、早期退院につながるよう、退院計画を本人、家族、スタッフで話し合い支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時にご本人、ご家族、主治医により、終末期における対応を話し合い、明確にしている。日頃から協力医の指導を受け、状態の報告や相談を密にして職員全員で方針を共有したケアの実践に努めている。	本人、家族の意向、ホームとしての対応力等を話し合う機会を設け、早い段階からの方針の統一を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	医師・看護師の指導の下、全員が対応できるように定期的に学ぶ機会を設け、緊急時に活かせる技術を身につけるようにマニュアルを元に取り組んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルを作成し、利用者と全職員が定期的に防災訓練や避難訓練などを実施し、連絡体制や進路、避難路、避難の手順を確認している。運営推進会議などを通じて協力を呼びかけている。	消火器や避難路の確保等の設備点検等を定期的に行うとともに、隣接している事業所の職員もすぐに駆けつけてくれる関係が構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員一同、利用者に対して敬意を払い接するように心掛けている。援助の必要なときには本人の気持ちを考え、さりげないケア、羞恥心に配慮し、本人の尊厳を尊重したケアを心掛けている。個人情報についても外部に漏れないよう全職員が徹底している。	職員は、親しみのある言葉かけをしながらも、常に尊厳を持った対応を心掛けている。トイレの誘導も、さりげない介助がされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションの大事にすることで自己決定の支援へとつなげている。意思表示が困難な場合でも、表情や反応から思いを理解し希望や願いを意図的に引き出せるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の思いに沿った生活が出来るように一人ひとりに話を聞きながら、支援するようにしている。それぞれの入居者の生活リズムを尊重し、ゆったりとした環境で本人の意向や要望を聞きながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の個性、希望、好みを尊重し季節感や清潔感のある、その人らしいおしゃれが出来るように家族の理解も得ながら支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員も利用者と同じテーブルで一緒に食事をしており、利用者が出来る範囲内で調理の下準備を手伝ってもらったり、食後にはテーブル拭きや後片付けを行っている。	どんな場面で食欲がわくかを把握したり、食欲を高めたり、食事への関心を起こすための工夫をしながら、食べることの楽しみを作りだしている。また、食事に関する一連の作業を通じて、入居者の力の発揮にも取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	職員も一緒に食事をする中で，一人ひとりの特徴を理解し支援している。食事摂取量は毎食、水分量は毎回チェックしている。摂取量が落ちているときには医師に相談したり、食事形態などを検討している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	うがい薬を使用している、うがいの支援や毎食後歯の磨きや義歯の洗浄を行っており、声掛けや見守りも行っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	一人ひとりの身体状況に合わせた対応をしている。出来るところは見守りを行い、出来ないところはカバー出来るように自尊心を傷つけないように支援を行っている。	チェック表を記入することで、個々の排泄パターンを把握しており、それぞれに定時の声かけをしながら、トイレでの排泄支援を行っている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	毎日排便チェックを行い、便秘気味の方には水分補給や体を動かしたり、食事などにも気を配るように対処している。それでも排便のない方には内服薬などでコントロールしている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	原則は決めているが、入居者の希望に応じて対応している。入浴時間もゆったりとっており、楽しんでいただけるようにしている。	個々の体調や希望に沿って、清拭や足浴の支援をしている。服を脱ぐことに抵抗があり拒否される方には、無理強いせず服のまま浴室に移動することで、自分からの脱衣行為を促し、入浴につながるような工夫もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりの体調を考慮し、ゆっくりと休憩や睡眠はとれるように支援している。常に清潔を心がけ安らげる場所であるように努めている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	入居者の処方薬については、医師の指示に従い、職員はが個々の内服薬を把握できるようにファイルを作成し、管理している。内服薬には本人に手渡しをし、きちんと服用できているか確認している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	本人の好きな趣味や余暇活動を生活歴や普段の係わり合いの中で把握するようにしている。その人に合った役割をみつけ、無理強いをすることなく出番を多く作って日々張り合いが出来るよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	常日頃から入居者の希望も踏まえ、買い物や散歩、ドライブ等、外出を心がけている。併設するデイサービス、小規模多機能へ気軽にしかけるなど事業所の中だけで過ごす事がないように支援している。	外出はこれまでの生活の継続であり、気分転換や、五感刺激の機会として活用しており、近隣に散歩や買物に出かけた時、時にはドライブ等を楽しんでいる。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	原則現金は所持しないようお願いしているが、利用者個々の力量を判断しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	プライバシーに配慮しながら希望に応じて電話や手紙を出せるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	常に清潔を心がけ心地良い気持ちになって頂けるよう心掛けている。季節に合った花を飾るなど。又、季節に合ったカレンダーを手作りし、季節感を感じられるような工夫を心掛けている。	リビングは、ソファ、椅子等が配置され、目の前の瀬戸内海の四季の移り変りを楽しみながら、それぞれが思い思いにくつろげる場となっている。日中はほとんどの入居者がリビングで過ごし、話し声や笑顔が絶えず、温かい雰囲気が出される空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	入居者同士が自由に過ごせるよう、ソファや椅子を設置し、家庭的でくつろげる空間を設けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家庭より使い慣れたものや、家族の写真を持参して頂き、その人が大切にしていたものに囲まれ、その人らしい居心地のよい居室作りを行っている。	写真、置物、テレビ等が持ち込まれ、一人ひとりの個性があふれる居室となっている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	入居者一人ひとりの身体状況に合わせて、危険の防止や物の配置を考えている。入居者の状態が変わり、混乱が生じたときは話し合いを行い、対策を講じるなど工夫している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム夕霧の家

作成日 平成 23 年 3 月 8 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者様と接するときに、言葉使いが良くないことがある	利用者を尊重した介護	言葉使いなどに注意し、敬意を持って接する	3ヶ月
2		地域に溶け込めていない	地域に貢献する	散歩に行くときにごみ拾いをして、地域に貢献できるように努める	3ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。